

事業者向け

放課後等デイサービス評価表

(八乙女) 杜っこ

2024年12月実施(15 名中 14 名回収)

			はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	7		中高等部の児童が多く職員が多い時は狭いと感じる時がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	12	2		適切に配置できている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	8	2	玄関や室内にも段差がある場所がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	5	1	PDCAサイクルで業務に取り組めているので、もっと実践に役立てていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14			OB会や夏祭りなど保護者の意見を取り入れながら実行できている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14			毎年行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14			毎月、研修を行っている他、就労先などの見学会なども実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14			家庭や学校、他事業所と連携しながら作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	4		種類を増やしたり、新しいものを取り入れていきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14			長期休業日など、チームで考えている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14			集団活動は、5領域をベースに交代でプログラムを考えて実行している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12	2		パターン化してしまう事がある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	14			集団活動は1日のスケジュールに組み込んで実施している。個別活動は構造化された部屋で行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14			毎日の打ち合わせで、担当や役割を確認し、振り返りとその日のかかわり方を考えている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14			特に必要な場合は徹底的に話し合いをしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14			より具体的に記せると尚良いと思う。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	14			定期的に行って広く意見を出し合うことができている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	14			読み合わせをする他、ミーティングなどでも意識できるようにしている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14			担当者会議が支援中に行われることがある。学校も参加できる機会には日程を考える必要がある。

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	12	2		学校側から行事の共有がなく、子どもの不安な様子から聞くことがある。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	14			現在、医療的ケアの対象児童はいないが、緊急時の対応は共有できている。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10	4		就学前に保育園や相談事業所との連携をしている。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	14			移行支援会議には積極的に参加し、情報の共有を行っている。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14			アーチルには、密に連絡を取り、連携している。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	5		土曜日利用児は、公園で地域のこども達と活動している。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		10	4	今後、参加していかなければいけない。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14			送迎時や連絡帳だけではなく、必要に応じて電話やラインで共通理解を図っている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	12	2		少人数で参加できる場があっても良いと思う。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14			適切に行っている。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14			適切に行っている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14			保護者参加型の行事や研修会を実施している。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14			苦情の報告は迅速にできており報告を受けてからの対応も素早く行っている。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14			毎月、杜っこだよりを発行している。 長期休業期間は、個別にスケジュールを作成し、配布している。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	14			十分に注意している。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14			こどもや保護者の様子を考えながら対応できている。
	㊀	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	10		整体を行う施設と連携し、地域の方が事業所に来て整体を受けられるような企画が実行される。
	㊁	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	14			読み合わせやシュミレーションを行い、共有・確認している。
非常時等の対応	㊂	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14			年間4度実施している。
	㊃	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14			事業所内の研修や他団体の研修に参加している。
	㊄	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	14			適切に実施出来ている。
	㊅	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14			どのこどもがどの食物アレルギーを持っているか共有している。
	㊆	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14			日頃の支援の振り返りに役立てていきたい。